

2013 年度は経常収益 1,803,954 円、経常費用 1,189,830 円となりました。2014 年度は、経常収益 3,340,000 円、経常費用 4,560,000 円を計画していますが、助成金の申請通過状況に左右される部分が大いいため、状況に応じて費用を見直しながら活動を進めて参ります。

※収支計算書(正味財産増減計算書)はホームページに掲載しています。

## ■2013 年の活動報告

ぐるへんは、乳児院で暮らす子どもたちを抱きしめる活動や、施設の子どもや里子、養子、一般家庭の子どもたちと大人たちが垣根なくふれあう交流イベントの開催、そしてインターネット上での情報発信を続けながら、里子・養子候補の子どもたちと里親・養親候補者たちとの距離を縮める活動をしてきました。その結果、活動への参加者の中から、現在までに里親登録をした方や実際に里親として子どもを預かった方があわせて 4 名、養子縁組した方または養子縁組の斡旋待ちの方があわせて 2 名、養子縁組または里親としての登録に向けご相談中の方 4 名が生まれています。ぐるへんサポーター登録数も 2012 年末の約 80 名から現在までに約 400 名へと大幅に増えており、活動に対する関心の高まりを感じています。

2013 年は以下の4つの活動を推進することを目指し、里親制度や養子縁組制度の普及に努めてまいりました。課題ごとの成果報告は以下の通りです。

### <里親制度や養子縁組制度の広報不足への対策>

1. ぐるへんのサポーター活動についてのインターネット上での情報発信：親を必要とする子どもたち、また里子、養子の現状を伝えることにより、活動への共感を広め、また活動の社会的意義を訴えるとともに、里親制度や養子縁組制度についての理解を広めます。

→乳児院で赤ちゃんを抱っこするなどの活動に参加する抱っこサポーターは、2012 年 12 月末の 15 名から 2013 年 12 月末までに 80 名へと増加。主な広報ツールとして用いているフェイスブック公式ページへのサポーターによる投稿が増えるにつれ、ページをフォローする一般ユーザーの数も増加。2013 年 12 月末時点で 840 名以上の方々がページを購読され、親を必要とする子どもたち、また里子、養子の現状についての理解が深まっています。

### <里親・養親候補と里子・養子候補の出会いの場の少なさへの対策>

2. 交流イベント開催：一般家庭の子どもたちと乳児院や児童養護施設にいる子どもたちが一緒に遊ぶイベントを開催し、里親登録や養子縁組を考えている大人たちも楽しみながら参加することで、里子・養子候補の子どもたちと里親・養親候補者たちとの出会いの機会を作ります。里親・養親候補者たちの裾野を広げることにつながります。

→2013年は、合計7回のイベントを実施、延べ332名の子どもたちや大人たちがイベントに参加しました。

上記 1、2 の活動を通じて、里親制度や養子縁組制度についての理解が深まり、そして里親や養親になるための一步をふみ出す方々の人数を増加させることができれば、日本の要保護児童たちが施設での“社会的養護”ではなく、養親や里親による“家庭的養護”により育つことができる、よりあたたかな社会の実現に近づきます。

一方、年初に掲げていた以下3と4の事業については事業継続を見送ることにしました。ぐる一んは、ふれあいのなかで新しい家族が生まれることを目標にしています。2013年、養子縁組に向けた活動へ取り組むなかで気づいたのは、養子縁組のスムーズな斡旋を増やすことも確かに重要なことではありますが、現実には養子縁組または里親登録をしようという決断に至るまでの過程が長く、多くの方がそこに到達する前に断念しているのが実情なのということです。子どもとの幸せな家庭を望む養親・里親候補者の方々は、まずは里親や養子縁組という手段があることを知り、そして家族をはじめとした周囲の理解を得たうえで、子どもとの相性や養育スキルなどに関する悩みを解消するなど、幾多の壁を乗り越えなければなりません。サポーター活動やイベントを通じ、制度や実態の理解を広め、養親・里親候補者たちの不安や疑問をひとつひとつ払拭しながらサポートを続け、養親・里親になろうという気持ちを固める方を増やすこと、それこそが、まさにぐる一んにしかできない活動だという思いが強くなりました。

実際に、ぐる一んの元には「養子縁組をしたいけれど、夫や義母が反対している。抱っこの活動を続けながら理解を得たい」「息子夫婦が不妊治療をしている。年齢のことも考え、養子縁組という方法もあると伝えたい」「施設の子どもを家で育てたい。里親登録したけれど、なにも進展がなく、どうしたらよいかわからない」などの相談が寄せられています。お話をうかがうほどに、まさに養子縁組を決意する前の段階で悩みを抱える方々であり、この段階での活動の需要を実感しています。活動の幅をしばることで、より効果的に新しい家族が生まれるためのサポートを実現する態勢を整えます。

＜里親・養親と里子・養子の斡旋機能不全への対策＞

3. 里親・養親と里子・養子マッチング：上記1、2の活動から「血縁」を超えた様々な新しい絆をうみだし、マッチングにかかる時間の短縮とミスマッチを防ぎ現状を打開する。そのための、施設職員、行政窓口、弁護士のチームが縁組を支えるプロセスを確立する。

＜里親と縁組後の養親へのサポート＞

4. 縁組後、定期的にサポーターを派遣。また、交流イベントへ誘導する等、子育て孤立に陥らないようケアをする仕組みを確立する。

■ 2014 年も引き続き、＜里親制度や養子縁組制度の認知不足への対策＞

と＜里親・養親候補と里子・養子候補の出会いの場の少なさへの対策＞を推進し、里親制度や養子縁組制度の普及を目指します。

登録サポーター数は、現在の400名から800名、抱っこサポーターは80名から130名への増加を見込んでいますが、いたずらに数を追うことなく、継続率と質の向上を意識した運営を続けます。また、交流イベントは、以下の通り予定しています。

第1回 アートイベント

第2回 わんちゃんと子ども達のふれあいイベント

第3回 プチサバイバル体験イベント

第4回 プチサバイバル体験イベント

第5回 アートイベント

第6回 プチサバイバル体験イベント

第7回 つくりたいもの、なんでもつくろうブロックイベント

■ その他の予定

より信頼性の高い組織運営と円滑な資金調達のために、一般社団法人化を上半期中に予定しております。

「新しい家族をつくる」というミッションのなかで、現在、ぐる一んが尽力すべき活動は、多数のサポーターによる情報発信と出会いの場の創出、そして養親・里親候補者たちが養子縁組や里親登録に踏み出すまでの過程をサポートし、養子縁組や里親登録

の裾野を広げることです。2014年にはこの活動にさらに注力することで、子どもたちが愛情あふれる家庭ですこやかに育つ社会の実現に貢献したいと考えています。

引き続き、みなさまのご支援をお願いいたします。

以上